

9.1 気象概要

9.平成17年9月洪水の概要

3日から7日にかけて、秋雨前線と台風第14号の影響により、広島県西部を中心に大雨や高潮による災害が発生しました。

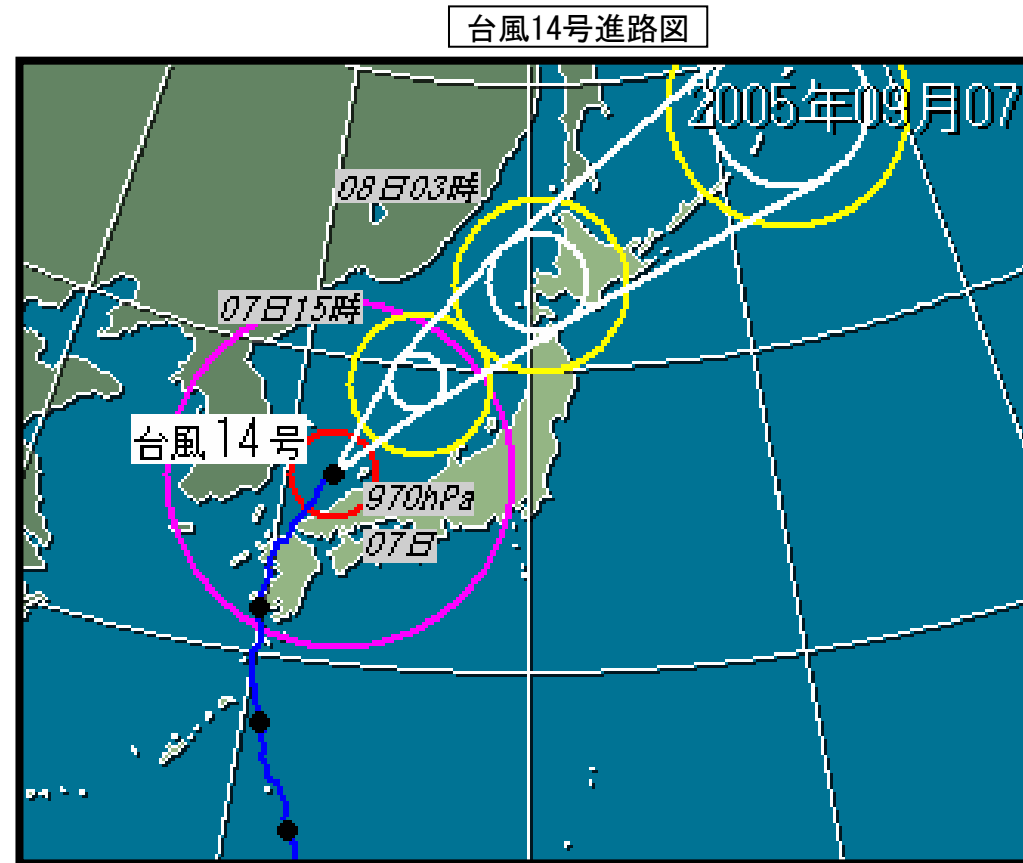
台風第14号は、大型で強い勢力を保ったまま、6日14時過ぎ長崎県諫早市付近に上陸しました。その後、九州北部を北北東に進み、20時頃北九州市付近から日本海に抜け、7日00時頃島根県浜田市の西海上を北東に進みました。

広島県の3日16時から7日09時までの総雨量は廿日市津田394mm、安芸太田町内黒山393mm、安芸太田町加計310mmなどでした。また、西部では6日夜、1時間30mm以上の激しい雨が4～6時間にわたって降り続きました。

また、台風の接近に伴い、6日夜遅くからの満潮時を中心に潮位が高くなり、広島港では263cm(TP上)に達しました。

この台風の影響で、広島県では負傷者(12名)の人的被害や、全壊(4棟)、一部損壊(44棟)、床上浸水(289棟)、床下浸水(1,662棟)などの住家被害が発生しました。

(広島県危機管理総室調べ)



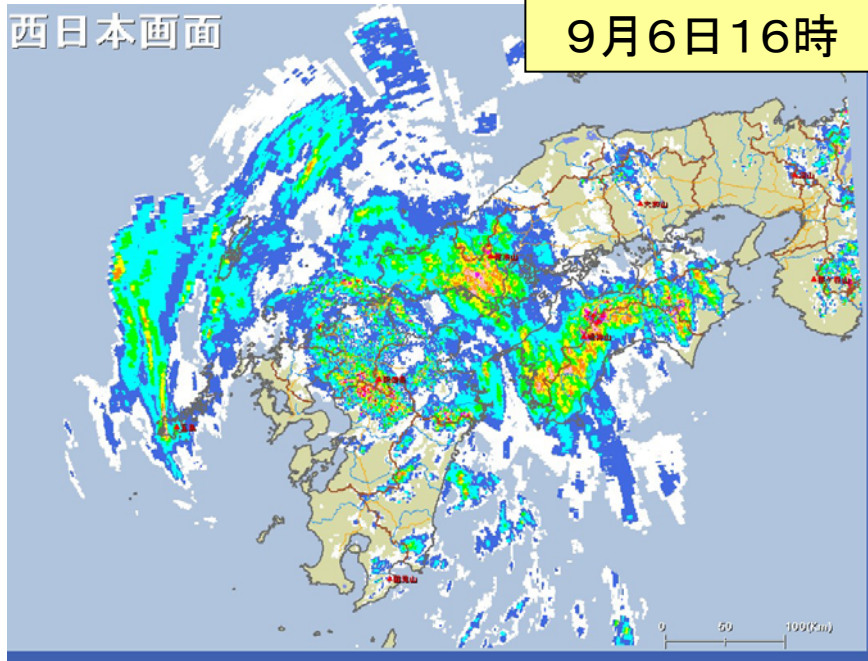
(出典：気象庁)

9.2 降雨状況

9.平成17年9月洪水の概要

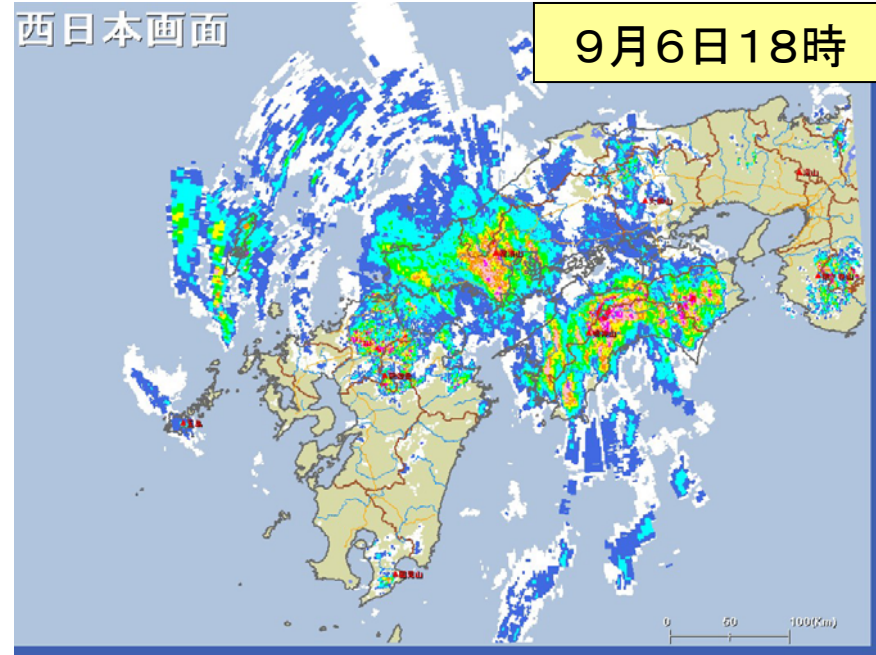
西日本画面

9月6日16時



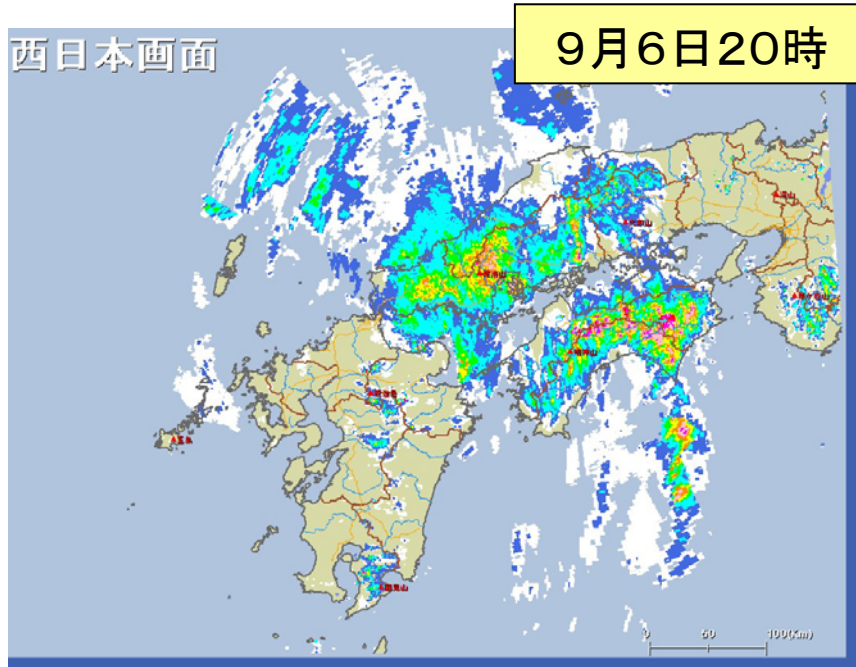
西日本画面

9月6日18時



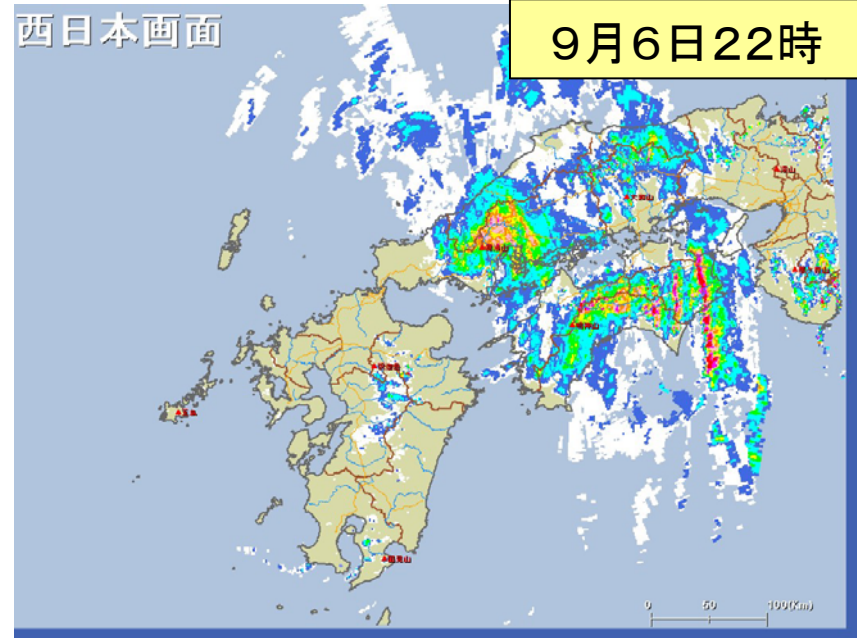
西日本画面

9月6日20時



西日本画面

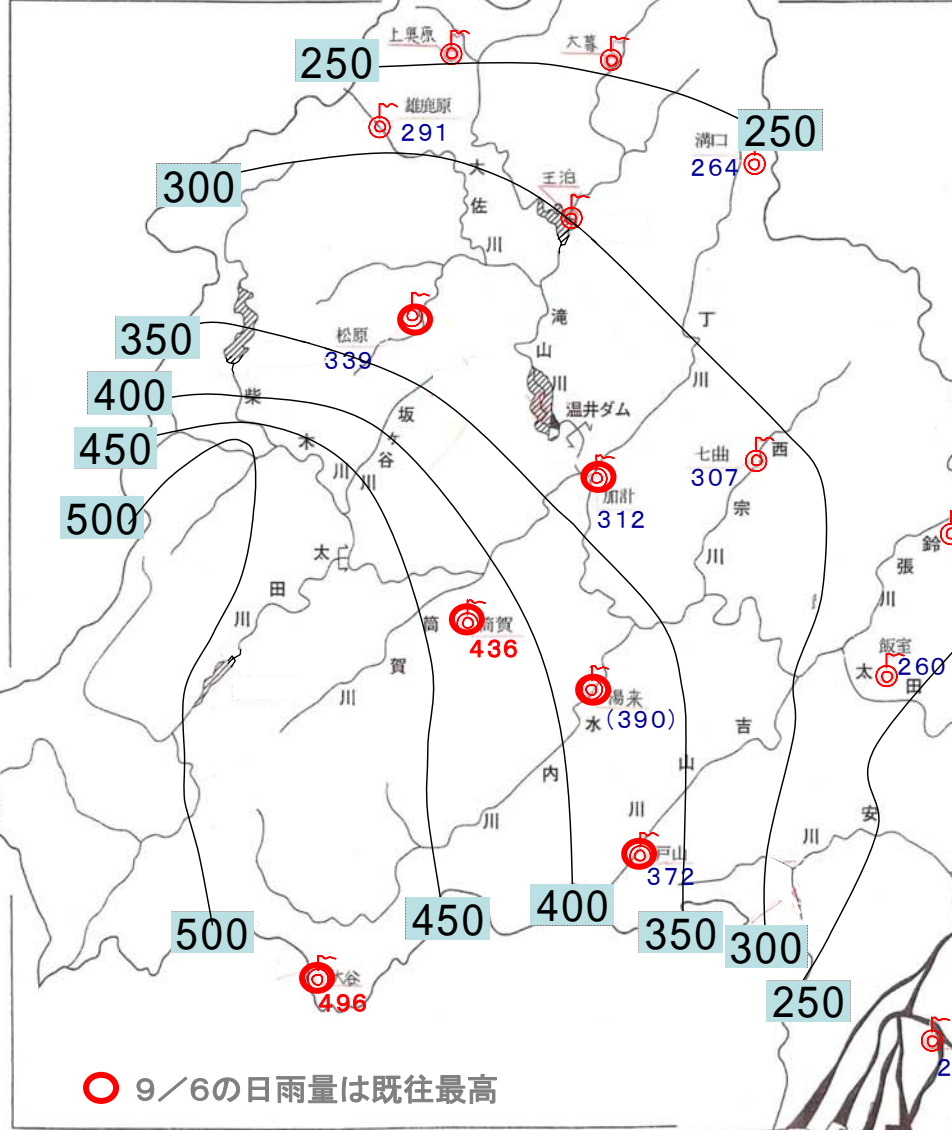
9月6日22時



9.3 太田川流域雨量分布図

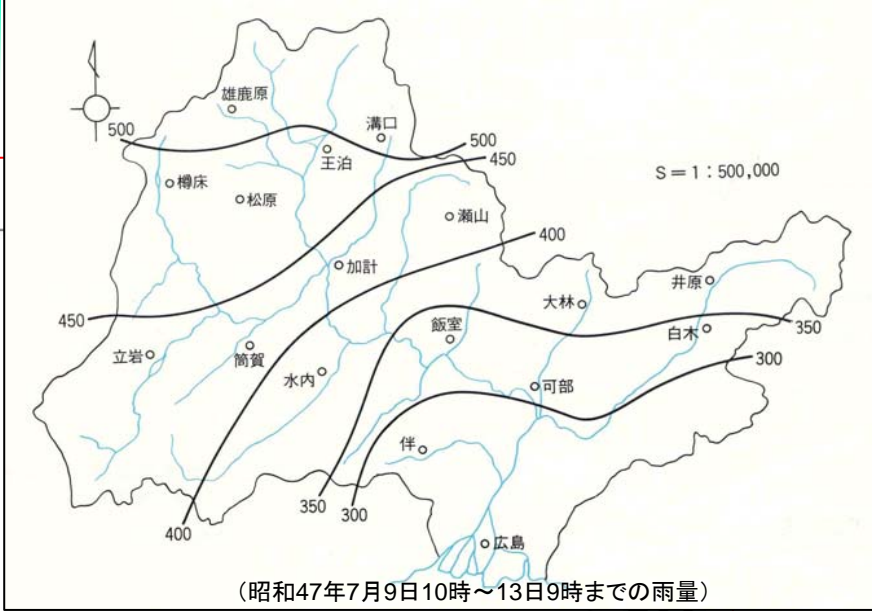
■平成17年9月豪雨は台風性によるものであり、短時間の集中豪雨により大きな被害を生じた

(平成17年9月4日～7日までの雨量)



○ 9/6の日雨量は既往最高

雨量コンタは、雨量レーダーによる分析を参考とし、テレメータ数値を基に作成しています。



(昭和47年7月9日10時～13日9時までの雨量)

流域箇所	流域雨量 (累加雨量)
太田川流域	303.4
太田川上流域	327.9
太田川中流域	330.2
三篠川流域	227.3
根谷川流域	209.6

広島湾

9.4 平成17年9月洪水による被災状況

■ 太田川の中上流部(可部より上流)では、床上浸水284棟、道路冠水による通行不能38箇所、施設被害など被害が集中 ※河川災のみ
 ■ 堤防未整備区間がほとんどで治水安全度は1/10以下



	床上 +1.0m以上 (家屋被害※1)	床上 +1.0m未満 (家屋被害)	床下 (家屋被害)	浸水面積 ha
広島市安佐南区	0(0)	3(3)	6(3)	13
広島市安佐北区※2	78(49)	173(117)	101(75)	84
広島市佐伯区	2(2)	16(5)	14(4)	11
安芸太田町	0(0)	12(3)	33(20)	21
浸水区域全体	80(51)	204(128)	154(102)	129

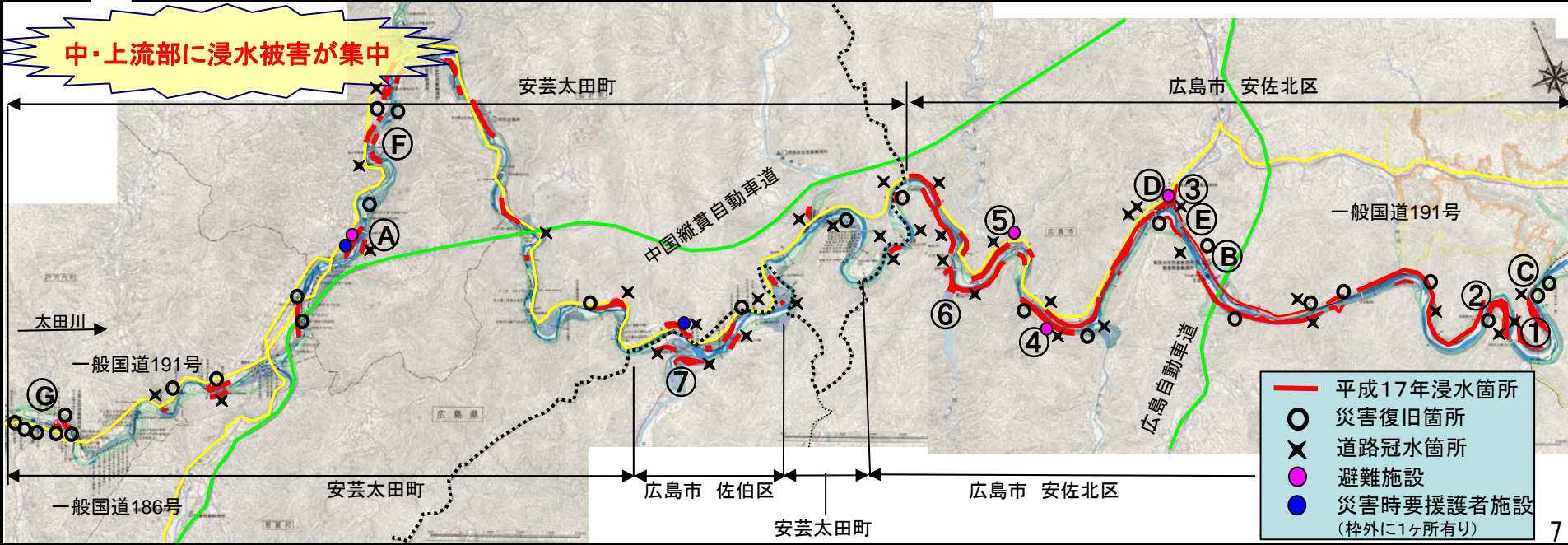
※1 公共施設等(発電所は除く)、空家5戸を含む。
 ※2 可部町(左岸16K00付近)の内水被害を含む。(平成17年10月時点)
 ※3 中・上流部沿川地区 約4000戸

中・上流部の約1割※3が浸水被害

繰り返される洪水被害

<平成11年6月>
 ・床上、床下浸水
 <平成16年9月>
 ・道路冠水
 <平成17年9月>
 ・床上、床下浸水
 <平成18年9月>
 ・水内川等、支川被害
 ・死者1名、行方不明1名

H16太田川27.8k付近

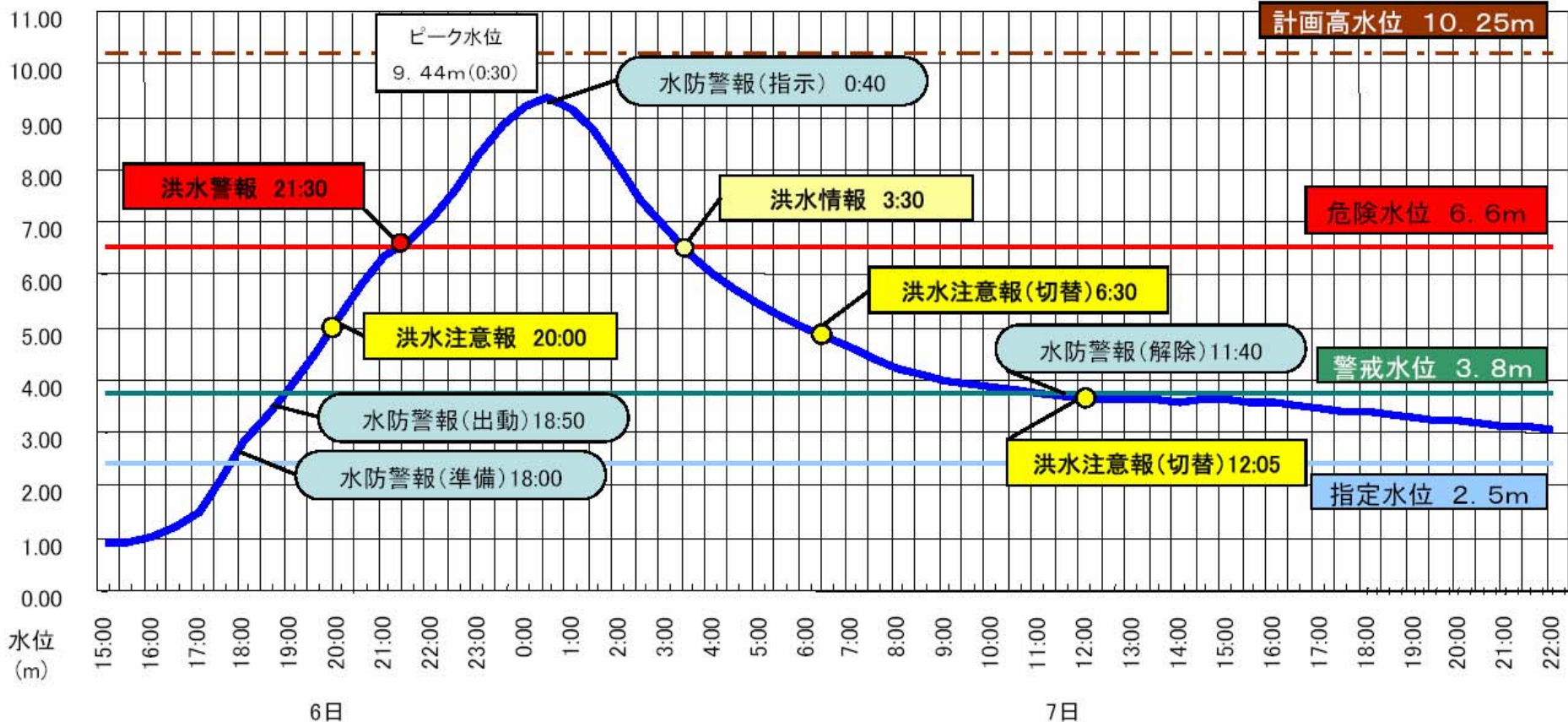


9.5 飯室地点の出水状況

9.平成17年9月洪水の概要

飯室観測所の水位と洪水予報、水防警報の発令状況

H17年9月6日15:00～7日22:00 (飯室観測所)



水防警報は、太田川河川事務所が水防管理者である市町に対して、観測所毎に、準備、出動、指示を発令する。
洪水予報は広島地方気象台と太田川河川事務所が合同で、市民に対して、太田川上流(飯室より上流)及び太田川下流で、洪水注意報、洪水警報、洪水情報を発令する。

9.6 飯室観測所地点の浸水状況

9.平成17年9月洪水の概要

